

< 20-23 >
2020年10月

先生各位

「β-TG、PF-4用容器」 変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、標記の容器が製造販売中止されることに伴い、下記のとおり採取容器を変更させていただきますのでご案内申し上げます。なお、容器変更により採血量が2.7mLに変更となります。

何卒ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■変更内容：

変更内容	新	旧
容器名称	β-TG、PF-4用容器	
容器番号	19	
採血方法 /変更点	本紙裏面をご参照下さい	
採血量	2.7mL	4.5mL
有効期間	容器及び外袋表示	容器表示
保管方法	常温・遮光	冷蔵・遮光
包装	アルミ包装(1本)	包装無し
容器画像		

※ 添加剤については変更ありません。

※ 旧容器につきましては、有効期限までご利用いただけます。

■変更日：2020年11月2日以降順次

以上

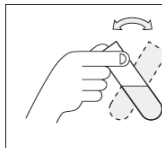
■変更点 : 総合検査案内133ページ

β-トロンボグロブリン(β-TG)、血小板第4因子(PF-4)の採血方法

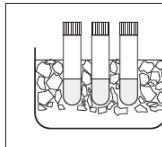
操作を2分以内に行う



20ゲージ(19~23ゲージ)の針を用いたポリエチレン注射器により、(組織から組織因子の混入を避けるため)2シリンジ法で初めの血液2mLを捨て、次の血液4.5mLを採取して下さい。真空採血管、カテーテルおよび他の採血方法は使用しないで下さい。また、できれば止血帯も使用しないで下さい。10mL以上の採血は避け、できるだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取して下さい。

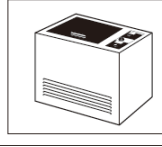


予めキャップを開け冷却しておいた専用容器に採取した血液4.5mLを移し、ゆっくり2~3回反転混合して下さい。指定のサンプリングチューブ以外は使用しないで下さい。サンプリングチューブは振とうさせないで下さい。

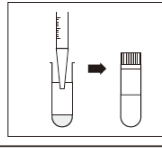


採血管を速やかに砕氷と水の入ったラックに戻し、冷却して下さい。砕氷水の水面よりチューブ中の血液の液面が下になるようにして下さい。角氷は使用しないで下さい。

採血量を 4.5mL から 2.7mL に変更
(検体提出量に変更はありません)



砕氷水に少なくとも15分間静置後、採取血液を2,500×gで20分間、2~8℃で遠心分離して下さい。(下表に2,500×gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。)1時間以内に必ず冷却下で遠心分離して下さい。



上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで0.5mL検体容器へ採取して下さい。検体は必ずプラスチック製試験管に入れて凍結保存して下さい。(1ヶ月安定)血餅に近い部分よりの採取は絶対に避けて下さい。

換算表

半径(cm)	回転数(r.p.m)	半径(cm)	回転数(r.p.m)
10	4,700	22	3,200
12	4,300	24	3,100
14	4,000	26	2,900
16	3,700	28	2,800
18	3,500	30	2,700
20	3,300		